



2拠点生産体制で世界最大のサラダ調味料市場での展開を加速

米国 2カ所目の生産拠点 テネシー工場で調味料の生産を開始

5月20日(火)に開所式を開催

キューピー株式会社

キューピー株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役 社長執行役員：高宮 満、以下キューピー）は、グループ会社である Q&B FOODS, INC.（本社：アメリカ合衆国 カリフォルニア州）の米国 2カ所目の生産拠点として新設したテネシー州の工場で、2025年5月から調味料の生産を開始します。現地では同年5月20日(火)に開所式を行いました。テネシー工場の稼働により、拡大する米州での需要に対応するとともに、世界最大のサラダ調味料市場^{※1}である米国を中心にさらなる市場の開拓とブランド浸透を目指します。

※1 米国におけるマヨネーズとドレッシングを合わせた市場



開所式 テープカットの様子

東部エリアへの速やかな商品供給が可能に。見学スペース設置でファン拡大も目指す



テネシー工場の外観

米国南東部に位置するテネシー工場では、家庭用および業務用のマヨネーズ・ドレッシングを製造し、中西部や東部への供給を担います。2拠点生産体制になることで、これまで西部のカリフォルニア工場からの輸送にかかっていた時間とコストが低減され、東部エリアへの速やかな商品供給が可能になります。テネシー工場の新設により米国における生産能力は最大3倍まで拡大可能となり、さら

なる需要創出を進めていきます。また、米国においては当社グループ初となる見学スペースを同工場に設置します。お客さまとの新たな接点を創出し、キューピーブランドのファン拡大につなげていきます（見学開始時期は未定）。

5月20日(火)に現地で行われた開所式には、多数の行政関係者、協力企業の方々にご列席いただき、テネシー州知事のビル・リー氏をはじめとした来賓の方々からご挨拶をいただきました。

キューピー 代表取締役 社長執行役員 高宮 満からは「このテネシー工場は米国のみならず米州での生産拠点とする予定です。それはこの工場の規模が拡大することを意味しており、長期にわたり雇用を創出することでテネシーの経済に貢献したいと考えております。また、キューピーグループは『食を通じて社会に貢献する』という精神のもと、食の大切さ・楽しさをお伝えする活動を続けております。テネシーにおいても食を通じて地域社会に根づくような活動を行ってまいります」と挨拶を述べました。

テープカットのセレモニーが行われ、開所式の参列者にはその後キューピーグループの創業の志や歴史をお伝えしながら見学通路より新工場の製造ラインをご覧いただきました。



㊤開所式 キューピー社長 高宮の挨拶、㊦工場見学の様子

新工場の概要は以下の通りです。

工場名	テネシー工場
所在地	アメリカ合衆国 テネシー州 モンゴメリー郡 クラークスビル
工場面積	建築面積 約 15,000 m ² / 延床面積 約 15,000 m ² / 敷地面積 約 80,000 m ²
主な製造品目	家庭用および業務用のマヨネーズ・ドレッシング等
最大生産能力	年間約 60,000 t



Q&B FOODS 製のキューピー マヨネーズ(左)と深煎りごまドレッシング(右)

【参考】会社概要

社名	Q&B FOODS, INC.
代表者	CEO : 佐藤 庸己 社長 : Jerry Shepherd (ジェリー シェパード)
事業内容	家庭用および業務用のマヨネーズ・ドレッシング等の製造・販売、マヨネーズ・ドレッシング・ソースの受託生産
本社所在地	アメリカ合衆国 カリフォルニア州 アーウィンデール
資本金	4.8 百万米ドル
出資比率	KEWPIE AMERICAS, INC. 100%※2
設立	1982 年 3 月

※2 KEWPIE AMERICASはキューピー株式会社の100%子会社

<米国におけるこれまでの展開>

キューピーは1982年、南カリフォルニアに当社グループでは米国初となる現地法人、Q&B FOODS, INC. を設立しました。業務用のキューピーブランド商品の製造・販売から始まり、調味料の受託製造で成長し、2014年頃からはキューピーブランドのマヨネーズ・ドレッシングの拡売に注力してきました。近年では、日本食の普及などを背景にキューピーブランドの認知が拡大しています。また、新たな価値を求めるレストランシェフや消費者の間でキューピーブランド商品の味や品質への支持が高まっています。キューピー マヨネーズは卵黄で作った濃厚なコクとうま味のあるソースとして高い評価を得ています。また深煎りごまドレッシングについてもアジア系や米国系スーパーマーケットなどへ出荷が増えています。